JE14338(00/00)

取扱説明書 お客様用

全熱交換型全館24時間換気システム

品番
ES-8300DC-F1

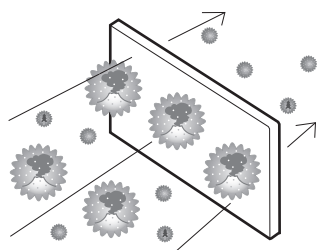
このたびは、全熱交換型全館24時間換気システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を必ずよく読み、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

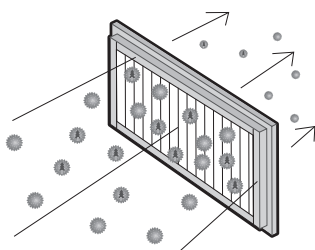
□この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる場所に、必ず保管しておいてください。
□保証書は、記載してあるお買い上げ日・販売事業者名・保証内容などをよく確認し、大切に保管しておいてください。
□この取扱説明書を紛失された場合や、ご不明な点があれば、お買い求めの販売事業者または、当社にお問い合わせください。

本換気システムは『PM2.5対策フィルター』を搭載しています。

PM2.5とは、大気中に浮遊する直径2.5μm以下(1μm=1000分の1mm)の微小粒子状物質の総称です。

『PM2.5対策フィルター』は、消耗品です。

当社従来品(不織布)フィルター

10μm以上の粒子 約80%以上除去[*2]

PM2.5対策フィルター

2μm以上の粒子 約95%以上除去[*2]

交換の目安は **約2年**[*1] となります。

*1 使用環境・使用条件により異なります。

本換気システムを初めて運転するときや、PM2.5対策フィルターを交換したときは、下表に使用開始日を記入してください。

PM2.5対策フィルター使用開始日

年　月　日 使用開始
年　月　日 使用開始
年　月　日 使用開始
年　月　日 使用開始
年　月　日 使用開始

*2 フィルターの除去性能で、部屋全体の除去性能とは異なります。
また、それぞれのフィルターにより測定方法は異なります。　不織布フィルター:質量法
PM2.5対策フィルター:計数法

安全上のご注意（必ずお守りください）

○ご使用前に、この事項を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
○この項に示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
○ここでの『人』とは、使用者のみでなく、ご家族、来客者および購入者から機器を譲渡された人も含みます。

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

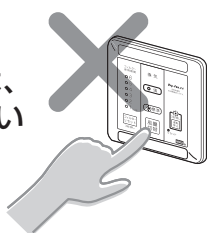
区分	内容
警告	人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	人が軽傷を負う可能性、及び物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

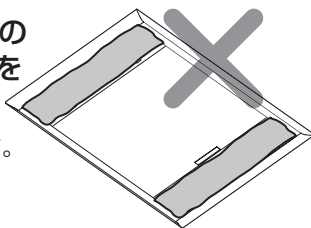
本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

図記号	意味
	一般禁止
	必ず行うこと

警告

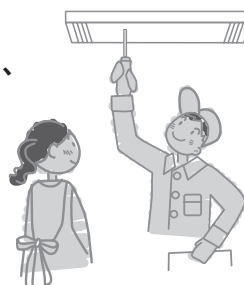
使用禁止

ガス漏れに気付いたときは、コントローラの操作をしない
爆発や引火の恐れがあります。
窓がある場合は窓を開けて空気を入れ換えてください。

禁止

フロントパネルに市販のごみ取り用フィルターを取付けない
火災・故障の恐れがあります。

分解・修理禁止

改造は行わない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理は行わない
火災・感電・けがの恐れがあります。
修理はフリーダイヤル *0120-011-408* までご連絡ください。

必ず守る

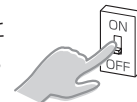
取付工事並びに電気工事は、お買い上げの販売事業者、または専門業者に依頼する
取付けが不完全な場合は、火災、感電や機器の落下によるけがの恐れがあります。

アース接続

アースをD種接地工事に基づいて確実に取付け漏電遮断器が設置されているか確認する
漏電や故障のときに感電する恐れがあります。
※アースや漏電遮断器を取り付ける電気工事は販売事業者にご相談ください。

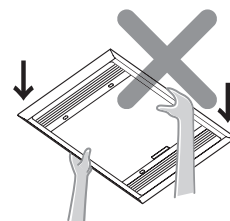
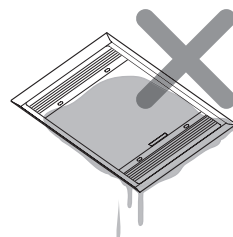
使用禁止

交流100V以外では使用しない
火災・感電・故障の恐れがあります。

使用禁止

運転中に機器から異常音や異臭、その他、運転が通常と違うことを感じたら、直ちに運転を停止し、分電盤のブレーカーを切る
マックスカスタマーセンター
0120-011-408 までご連絡ください。
異常のまま運転を続けると火災や感電の恐れがあります。

禁止

フロントパネルは取り外さない
火災・感電・故障の恐れがあります。

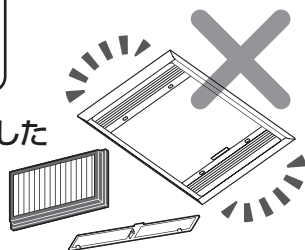
禁止

水につけたり、水をかけない
感電、故障する恐れがあります。

ブレーカーを切る

お手入れは分電盤のブレーカーを切ってから行う（ぬれた手で入／切しない）
感電の恐れがあります。

注意

使用禁止

フィルターをはずしたまま運転をしない

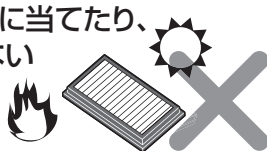
故障の恐れがあります。

使用禁止

一般家庭用以外の目的に使用しない

この製品は、一般住宅用全館換気システムです。業務用として使用しないでください。

禁止

フィルターを直射日光に当てたり、火に近づけて乾かさない

損傷、変色や変形の恐れがあります。

ブレーカーを切る

長時間使用しない場合は、分電盤のブレーカーを切る

火災、漏電の恐れがあります。

ブレーカーを切る

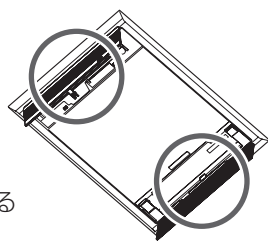
雷が発生しているときは、すぐに使用を中止し、分電盤のブレーカーを切る

故障の恐れがあります。

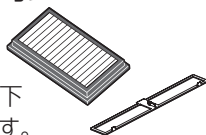
※雷が遠ざかったことを確認してから分電盤のブレーカーを入れてください。

取付注意

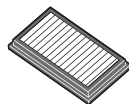
お手入れの際、フィルターの取付けは、確実に行う

落下によりけがをする恐れがあります。

必ず守る

フィルターのお手入れは定期的に（1ヶ月に1回程度）必ず行う

フィルターが目詰まりすると、天井クロス等の汚れや運転効率の低下や故障や運転音増大の恐れがあります。

必ず守る

PM2.5対策フィルター交換の目安は約2年（使用環境・使用条件により異なる）。ただし、ひどく汚れが目立つ場合は交換する

定期的に交換しないとシステム性能が低下する恐れがあります。

必ず守る

お手入れは機械が確実に停止してから行う。すべらないよう足元に注意し、手は手袋などで保護して行う（すべりやすいスリッパなどをはいた状態での作業や、不安定な台での作業は、危険なので行わない）

けがをする恐れがあります。

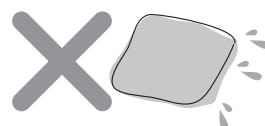
使用禁止

お手入れの際は、アルコール、ベンジン、シンナー、みがき粉、化学雑巾、金属タワシ、アルカリ性洗剤、酸性洗剤、カビ取り剤等は使用しない

フロントパネル及びコントローラ･スイッチの故障、変色や変形、表示ステッカーの文字が消える恐れがあります。

禁止

コントローラ･スイッチの水拭きは行わない

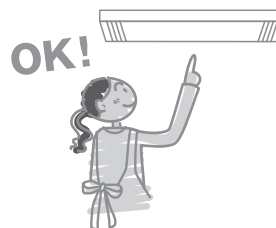
感電、故障の恐れがあります。

必ず守る

お手入れの際に、洗剤を使用する場合、中性洗剤を使用し、直接吹きつけない。また、洗剤が残らないように確実に拭き取る

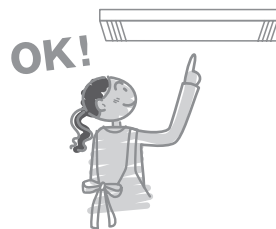
フロントパネル及びコントローラ･スイッチの故障、変色や変形、表示ステッカーの文字が消える恐れがあります。

取付確認

本体が天井にしっかり取付けられていることを確認する

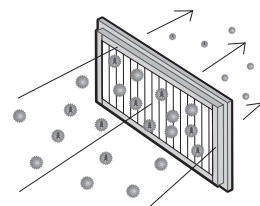
落下によりけがをする恐れがあります。

取付確認

天井取付部などが痛んでいないか、定期的に確認する

取付部などが痛んでいると、火災、感電や機器の落下によるけがの恐れがあります。

特　長

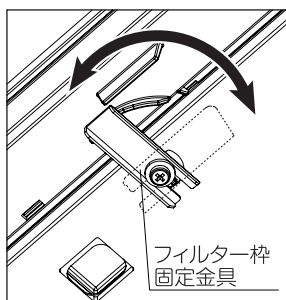
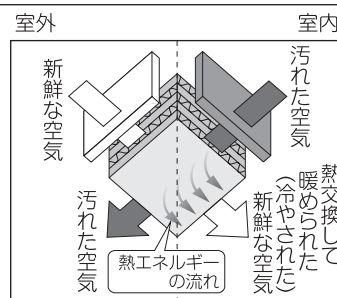
本換気システムは、気密度が高い住宅の快適な換気を実現するために設置された24時間連続運転を行う換気装置です。

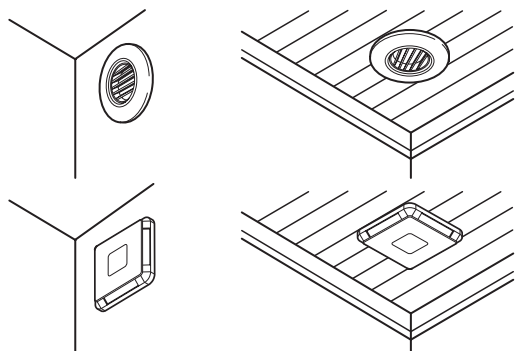
◎建築基準法で定められるシックハウス対策の計画換気（機械式換気により住宅全体を1時間に0.5回の換気）を行います。
◎室内の汚れた空気を排出すると同時に、新鮮な外気を取り入れて、住宅内の空気をゆっくり入れ替えます。
◎PM2.5対策フィルターは外気の花粉、PM2.5、黄砂、火山灰など粒子径2.0μm以上の微粒子を約95%以上カットします。（測定条件：50m³/h時測定方法：計数法）
◎空気を入れ替えるとき、排出される室内の空気と、取り込まれる外気との間で熱交換を行い空気は室内の温・湿度条件により近づけた状態で供給されます。
◎全熱交換方式のため、排出する熱エネルギーのロスを減らすことができるので、冷暖房費の節約につながります。

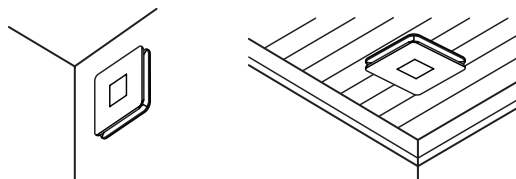
PM2.5 対策フィルター

2μm 以上の粒子
約95% 以上除去

各部の説明

換気ユニット

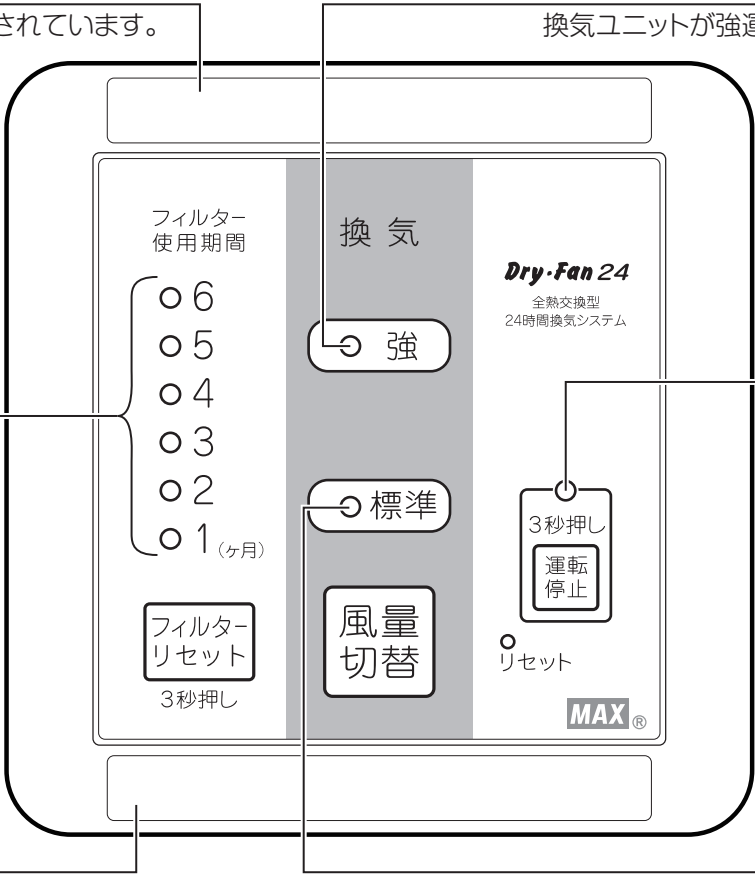
天井に取り付けられています。細かい部分のデザインはイラストと異なる場合があります。

給気グリル

熱交換された新鮮な空気がここから供給されます。
1台につき2～6個設置されています。細かい部分のデザインはイラストと異なる場合があります。

副吸込グリル

汚れた空気を吸い込み、屋外へ排出します。
1台につき1個設置されています。（トイレ等の換気）
細かい部分のデザインはイラストと異なる場合があります。

コントローラ

コントローラは通常、換気ユニット近くの壁に取付けられています。
細かい部分のデザインはイラストと異なる場合があります。
コントローラを操作するときは、目的に合わせて正確にボタンを押し、ランプの点灯を確認してください。

本説明書ではランプの表示を下記のように示しています。

点灯	点滅	消灯
●	◐	○

各ボタンとはたらき

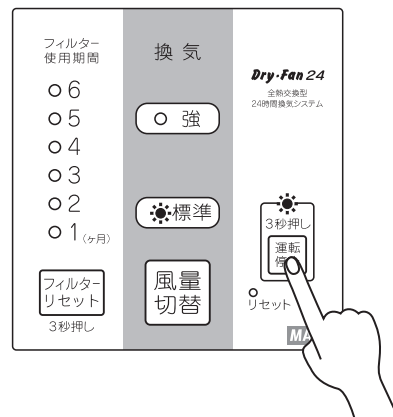
ボタン	はたらき	参照
運転停止	**換気ユニットを運転、停止します。** 停止させるときはボタンを3秒以上押し続けます。	**P5**
風量切替	**風量を切り替えます。** ボタンを押すごとに「強運転」⇔「標準運転」と切り替わります。	**P5**
フィルターリセット	**フィルターの清掃が完了したときに押します。** ボタンを3秒以上押し続けるとフィルター使用期間ランプが消灯します。	**P6**
リセット	**コントローラを操作しても動作しないときや、異常だと思われたときに使用します。** ボタンを押すと数秒後に運転ランプと風量標準ランプが点灯します。	**P9**

運転する

本製品はブレーカーを入れたとき、運転停止ボタンを押さなくても自動的に標準運転が始まります。運転は止めることができますが、住宅の計画換気の為に必要ですので、メンテナンス以外では停止させないでください。

運転ランプが消えている場合、［運転停止］ボタンを押してください。

運転ランプ と風量標準ランプ（標準）が点灯し、運転が始まります。

電源（ブレーカー、スイッチ）を入れても、運転しているかどうかわかりにくい場合がありますが、これは運転音が小さいためです。各部屋の給気グリルから静かな風が吹き出していれば故障ではありません。

風量を切り替える

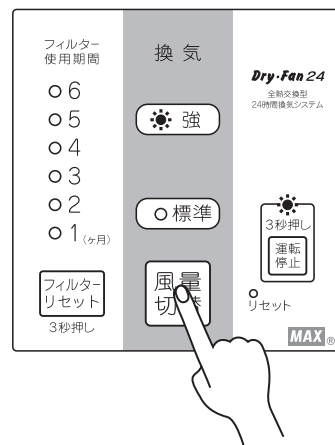
［風量切替］ボタンを押してください。　ボタンを押すごとに（強）⇔（標準）と切り替わります。

強運転　　標準運転

風量の切り替えは以下を目安として行ってください。

強 運 転 ：通常の運転よりも早く空気を入れ替えたい状況が生じたとき。
例えば、何かの臭気が充満したとき、煙草のけむりが充満したとき、その他空気が汚れていると感じられたときなど。

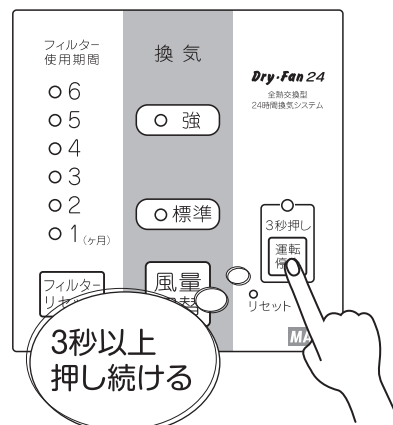
標準運転：通常、24時間連続運転を行っている状態です。

お客様の住宅の床面積が大きい場合は、施工時に風量を大きく設定しています。この場合は強と標準はどちらも同じ風量で運転します。

停止する

 ボタンを3秒以上押し続けてください。

すべてのランプが消灯し、運転が停止します。

⚠ 注意	本製品はお客様の住宅の計画換気を行うために、24時間連続で運転している換気システムです。運転を停止すると、計画換気が行われなくなります。

フィルター使用期間のカウントは使用経過期間を記憶したまま停止し、運転開始と同時に再び開始します。

フィルター使用期間ランプについて

本製品はフィルターの使用経過期間がコントローラに表示されます。

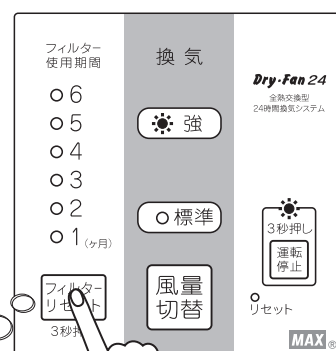
フィルター使用期間のカウントは運転開始と同時に始まります。
フィルター使用期間ランプを目安に1ヶ月に1回程度フィルターの清掃（P8参照）を行ってください。

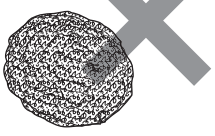
※フィルター使用期間ランプは、1～5ヶ月経過時「点灯」、6ヶ月経過時は「**点滅**」となります。

周囲の状況によりフィルターの汚れ具合は異なります。
状況に応じて月数と汚れ具合を目安に、次回から同一月数を目安に清掃をすると効果的です。

フィルターリセットボタンについて

フィルターのお手入れ終了後、使用するボタンです。

お手入れ終了後、フィルターリセットボタンを3秒以上押し続けてください。
フィルター使用期間ランプが消灯し、フィルター使用期間のカウントはリセットされ、再スタートします。

フィルター使用期間ランプは、フィルターリセットボタンを3秒以上押し続けると消灯しますが、必ず、フィルターの汚れ具合を確かめた上、お手入れ終了後、押してください。

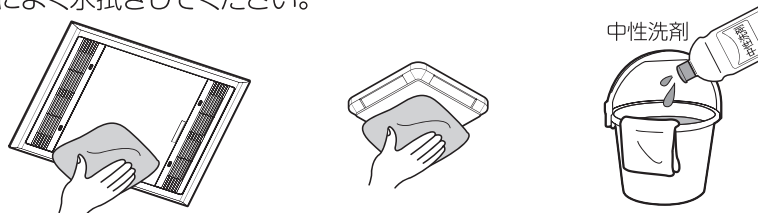
お手入れのしかた（1ヶ月に1回）

⚠ 警告	■水につけたり、水をかけない　感電、故障する恐れがあります。 ■分電盤のブレーカーを切る（ぬれた手で入／切しない）　感電の恐れがあります。
⚠ 注意	■フィルターのお手入れは定期的に（1ヶ月に1回程度）必ず行う フィルターが目詰まりすると、運転効率の低下や故障や運転音増大の恐れがあります。また、フィルターが極度に目詰まりすると、フィルター部以外の隙間から空気が流れ、天井クロス等が汚れる恐れがあります。 ■お手入れは機械が確実に停止してから行う。すべらないよう足元に注意し、手は手袋などで保護して行う（すべりやすいスリッパなどをはいた状態での作業や、不安定な台での作業は、危険なので行わない） けがをする恐れがあります。 ■取り外したフィルターやグリルの取付けは、確実に行う　落下によりけがをする恐れがあります。

お手入れ用具の準備

フロントパネル・コントローラ・給気グリル・副吸込グリルのお手入れ

お手入れの前に、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。

フロントパネル・給気グリル

良くしぼった布で水拭きしてください。汚れがひどい場合は、お湯で薄めた中性洗剤を浸した布で拭き取り、洗剤が残らないように最後によく水拭きしてください。

中性洗剤

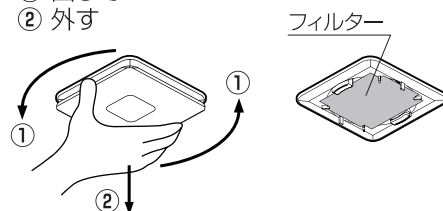
コントローラ・副吸込グリル

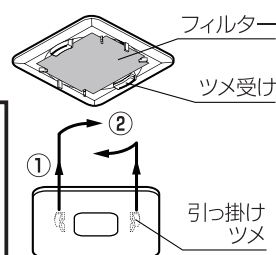
布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、お湯で薄めた中性洗剤を浸した布で拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。

中性洗剤

［副吸込グリルのフィルターのお手入れ方法］

1. グリルカバーを外し、フィルターについた虫やほこりを掃除機で吸取ってください。

① 回して
② 外す

2. フィルターを取り付けて、グリルカバーを取り付けてください。

① 本体に被せ
② 回す

⚠注意
グリルカバーとグリル本体が、きちっと重なり合うまで回して取付ける

フィルターのお手入れ

フィルターのお手入れは定期的に（1ヶ月に1回程度）必ず行う

フィルターが目詰まりすると、運転効率の低下や故障や運転音増大の恐れがあります。
また、フィルターが極度に目詰まりすると、フィルター部以外の隙間から空気が流れ、
天井クロス等が汚れる恐れがあります。

フィルターは『**PM2.5対策フィルター**』と『**RAフィルター**』の2種類あります。**お手入れは2種類とも同時に行ってください。**

1 分電盤のブレーカーを切ってください。

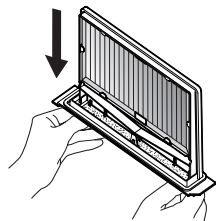
2 **各フィルター取り出し口のPUSHの位置2ケ所を押し、**開けてください。
各フィルターを取外してください。

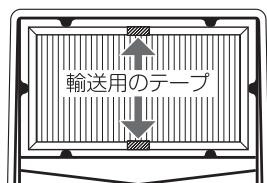
PM2.5対策フィルターの取り外し方

① フィルター枠固定金具を解除してください。

② フィルター枠をゆっくりと取外してください。

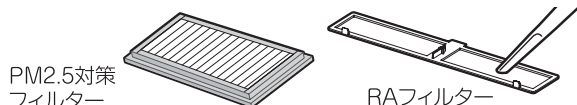
◇**勢い良く取り外した場合、虫やほこりが落下するおそれがあります。**

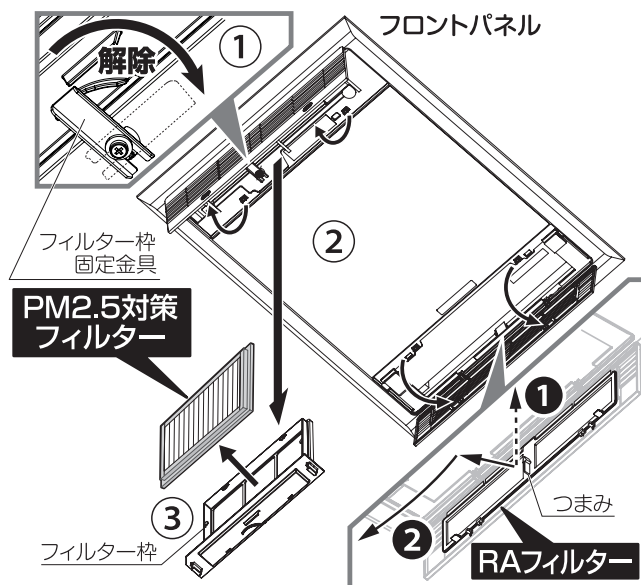
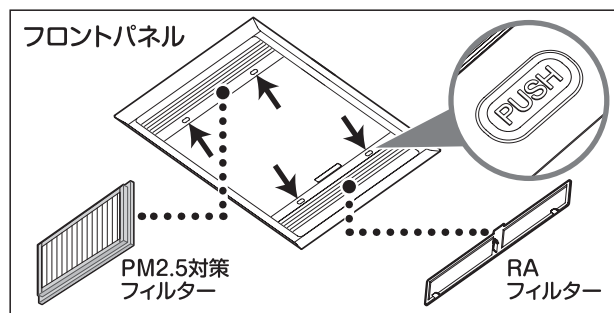
③ フィルター枠から、PM2.5対策フィルターを取外してください。

フィルターを取外す際は輸送用のテープをはがしてください。
（施工時にはがされている場合もあります）

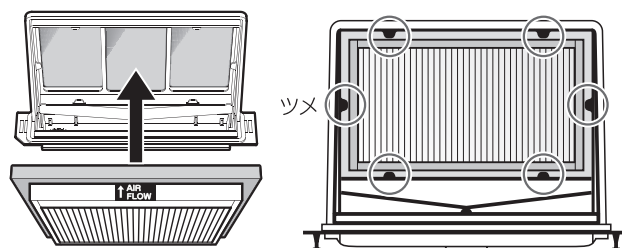
再度取付ける場合は輸送用のテープを貼り直す必要はありません。（性能に影響はありません）

RAフィルターの取り外し方

❶ つまみを持ち、少し上に持ち上げながら、

❷ 手前に引き、取り外してください。

3 虫やほこりを取り除いてください。

PM2.5対策フィルターについて

PM2.5 対策フィルターは**消耗品**です。
掃除機や水洗いによるお手入れをしないでください。
破損するおそれがあります。
表面に虫や埃がある場合には逆さまにして落とすか、やわらかいブラシ等で表面を撫でるように落としてください。無理な力を加えると破損や機能低下のおそれがあります。
著しく汚れていると感じたら PM2.5 対策フィルターを交換してください。
交換の目安は約２年（使用環境・使用条件により異なります）です。
また、定期的に交換しないとシステム性能が低下するおそれがあります。

4 各フィルターを取り外しと逆の順序で取付けてください。

PM2.5対策フィルターは取付ける向きがあります。
図のとおり、正しい向きに取付けてください。このとき、ツメが見えるまでフィルターをしっかり入れてください。

◇**各フィルターを入れ忘れないようにしてください。**
◇**フィルター枠はレールに合わせてゆっくりとまっすぐ差し込み、フィルター枠固定金具で確実に固定してください。**
◇**取付け後、運転をして異常音がしないか、各給気グリルから風が正常に出ているか、確認してください。**

5 お手入れが終了したら、分電盤のブレーカーを入れ、コントローラのランプの点灯を確認した後、**フィルターリセットボタンを3秒以上押し続けてください。**

フィルター使用期間ランプが消灯します。

故障かな?と思われたら

故障と思われたら、症状に応じて次のことを点検・処置してください。

症 状	点検していただきたいこと	処置方法	参照頁
コントローラを操作しても動かない。（ランプが点灯しない）	停電していませんか?	復帰した後、リセット操作をしてください。	*9*
	分電盤のブレーカーが切れていませんか?	分電盤のブレーカーを入れてください。	
運転時、異常な音や振動がする。	フィルターがはずれかかっていませんか?	フィルターをしっかりと取付けてください。	*8*
	フロントパネルがはずれかかっていませんか?	修理を依頼してください。	*9*
給気グリルから出る風が少なくなった。	フィルターが目詰まりしていませんか?	フィルターを清掃または、交換してください。	*8*
運転ランプまたは風量標準ランプが点滅している。（異常報知）	—	リセット操作をしてください。	*9*
本体から水が滴下する。	台風等の強風により、雨がダクトより吹き込んできた場合や、外気温度が低く室内の温度湿度が高い場合、本体から水が滴下する場合がありますが故障ではありません。（結露や凍結については、室内外の環境条件により、発生状況が異なります。）		—

以上のことをお調べになっても、なお異常があるときや、ご不明の点がございましたらマックス カスタマーセンター（フリーダイヤル）0120-011-408までご連絡ください。不完全な処置は事故の原因となりますので、修理は絶対にお客様自身でなさらないでください。

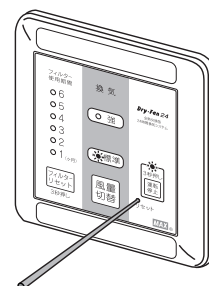
アフターサービスについて

リセット操作について

コントローラを操作しても動作しないときや、異常だと思われたときに使用します。

①リモコンのリセット穴に先の細いもの（楊枝など）を入れ、中のリセットボタンを押してください。数秒後に運転ランプと風量標準ランプが点灯します。

②それぞれの使用方法に従い、正常に動作するか確認してください。

リセットボタンを押すとフィルター使用期間ランプは消灯し、フィルター使用期間のカウントはリセットされますのでご注意ください。

以上のことをお調べになっても、なお異常があるときや、ご不明の点がございましたらマックス カスタマーセンターまでご連絡ください。

修　理

修理を依頼される前に、「故障かな?と思われたら」をもう一度ご確認ください。

修理のお申し込み

確認後も異常があるとき、またはご不明な点がある場合は、自分で修理せずに、マックス カスタマーセンターへフリーダイヤルまたはインターネットでご連絡ください。
なお、ご連絡の際は下記事項をお知らせください。

マックス カスタマーセンター ***0120-011-408***

ホームページ　***http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/repair.html/***

1. 品　名：全熱交換型全館24時間換気システム
2. 品　番：ES−8300DC-F1
3. 施工年月日
4. 故障または異常の内容（できるだけ詳しくお知らせください）
5. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しくお知らせください）

補修用性能部品の保有期間（「全熱交換型換気システム」は換気扇に準じます。）

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。保有期間後の修理は部品がなく、できない場合がありますので、ご了承ください。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

保証・修理について

- 本書の裏表紙が保証書となっています。保証書に記載されていますように、機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、当社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、有償で修理をお受けいたします。

標準修理料金

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理させていただきます。
標準修理料金は『技術料』＋『出張料』＋『部品代』で構成されています。

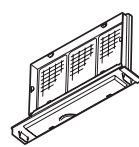
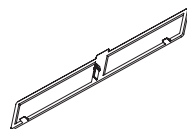
別売り部品

交換用フィルターのご用命は下記で受け付けております。

住環境店舗MAX **0120-631-722**

http://www.jyukan-shop-max.com/ ▶ 住環境店舗 MAX 検 索

名　　称	PM2.5対策フィルター	RAフィルター	フィルター枠
商 品 名	ES-F106HG	8300RAフィルター	フィルターワク（8300）
商品番号	JG90254	JG90205	JG90249
入　　数	1	1	1

PM2.5対策フィルターにかわり、VO105スペアフィルターセット5マイもご使用できます。

破損した場合のみ交換してください。

仕　様

品　番	ES−8300DC-F1	
定格電圧	AC100V　50/60Hz	
モード	標　準	強
消費電力（W）	7～38	38
給気風量（m^3/h）	70～159	159
熱交換効率（%）温　度	60～83	60
熱交換効率（%）エンタルピー暖房値	44～66	44
熱交換効率（%）エンタルピー冷房値	38～56	38
騒　音（dB A）	17～36	36
質　量（kg）	11.0	

●特性はJIS B 8628に基づきます。
●騒音値は無響室で本体下方1.5mの位置で測定したものです。実際に据え付けた状態では反響等の影響を受けるため、表示値より高くなります。
●給気風量は静圧OPa時（工場出荷時）の値です。
●PM2.5対策フィルターES-F106HG装着時の値です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の内容表示を本体に行っています。

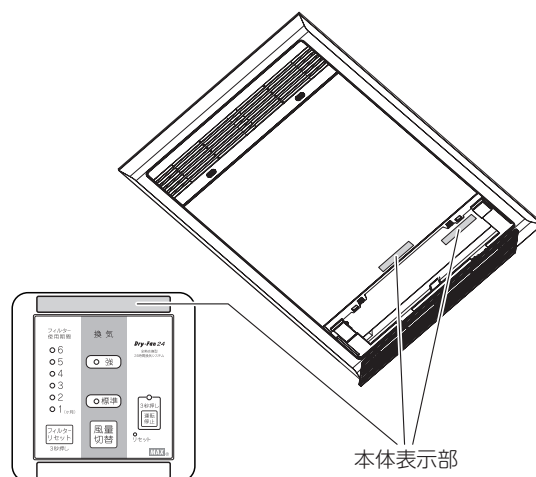
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間とは

運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用できる標準的な期間です。
設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものでもありません。

■標準使用条件　日本工業規格JIS_C_9921-2による

環境条件	電　　圧	単相100V	機器の定格電圧による
	周 波 数	50Hz/60Hz	
	温　　度	20℃	JIS　C9603参照
	湿　　度	65%	
	設　　置	標準設置	機器の施工説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間a) 台　所　2410時間/年 居　室　2193時間/年 トイレ　2614時間/年 浴　室　1671時間/年	

注記　温度20°C、湿度65%は、JIS C 9603の試験状態を参考としている。
注　a) 常時換気（24時間連続換気）のものは、8760時間/年とする。

■経年劣化とは

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

保 証 書

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この保証書はお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、
本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

お名前	お名前 ご住所　〒 TEL
販売事業者名	お名前 ご住所　〒 TEL
保証期間	お買い上げ　　年　　月　　日から１年間

品　名
全熱交換型 全館24時間換気システム

品　番
ES-8300DC-F1

〈無料修理規定〉
1.取扱説明書、取付説明書に従った正常な使用状態で、上記保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売事業者、当社または代行店が無料修理致します。
2.保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売事業者または、当社にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
　なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売事業者にご相談ください。
4.ご贈答品で、本保証書に記入してあるお買い上げの販売事業者に修理が依頼できない場合には、当社にご相談ください。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
6.本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
7.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災、塩害、地震、風水害、煤煙、腐食性などの有害ガス、ほこり、落雷、異常気象、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入およびその他の天災、地変による故障および損傷。
（ニ）取付説明書および取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
（ホ）業務用の場所でご使用になられた場合。
（ヘ）車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
（ト）樹脂仕上、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
（チ）機器に表示してある電源、電圧以外の電源、電圧で使用された場合。
（リ）本書の提示がない場合。
（ヌ）本書にお買い上げの年月日、お客様名、販売事業者名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
（ル）消耗部品の取替および保守などの費用。
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、下記フリーダイヤルへご連絡ください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは修理欄をご覧ください。

［お客様の個人情報のお取扱いについて］
当社は、お客様の個人情報を当社製品の点検修理、お問い合わせへの対応および製品、サービスの改善などに利用させていただき、これらの目的のためにお問い合わせ内容の記録を残すことがあります。なお、点検修理やその確認業務に携わる協力会社にもお客様の個人情報を開示することがありますが、当社と同等の管理を行わせます。

愛情点検

長年ご使用の換気扇の点検を!

このような症状はありませんか?	●運転開始後回転音が不規則に聞こえたり回転しない。 ●運転中に異常音がしたり振動がある。 ●異臭がする。 ●その他、異常を感じる。

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、運転を停止し、電源を切り、必ずお買い上げの販売事業者または取付店に点検・修理を依頼してください。

修理のご依頼は　マックスエンジニアリング＆サービスファクトリー（株）へ

0120-011-408

インターネットでの修理のご依頼は
http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/repair.html/

マックス カスタマーセンター
〒103-0015　東京都中央区日本橋箱崎町6-2　マックス本社ビル別館5F
TEL　03-5623-4616　FAX　03-3668-8127

製品・別売部品についてのお問い合わせは　マックス（株）へ

0120-228-428

住環境機器お客さま相談窓口
〒103-8502　東京都中央区日本橋箱崎町6-6
TEL　03-3669-8112　FAX　03-3669-8135
http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/support.html/

0120-631-722

住環境店舗MAX
ホームページでも受け付けております。
http://www.jyukan-shop-max.com/

初版 2015年３月